

富山県
アイバンク
だより



第二代理事長
井村 東司三 (96歳翁)

高岡大仏(大佛寺)

献眼であなたにもできます
「光」の贈りもの

公益財団法人 富山県アイバンク

献眼者ご芳名

平成22年7月から平成23年8月まで

平成22年

9月 故 酒井 幸枝 様 富山市
 故 匿名 希望 高岡市
 10月 故 山田 金治 様 富山市
 11月 故 荒田 清 様 小矢部市
 故 高田 善夫 様 氷見市
 故 水上 新松 様 富山市

平成23年

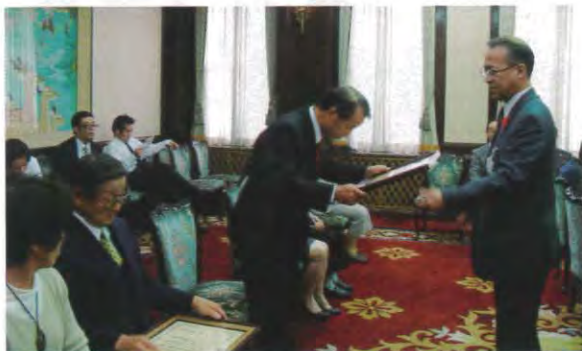
2月 故 匿名 希望 富山市
 故 山崎 與志夫 様 富山市
 3月 故 宮川 のぶ子 様 高岡市
 故 井波 ゆり子 様 射水市
 故 武田 久義 様 入善町
 4月 故 匿名 希望 富山市
 故 吉澤 鍵吉 様 高岡市
 5月 故 高崎 清允 様 立山町
 故 朝日 千鶴子 様 富山市
 8月 故 匿名 希望 京都市
 故 高野 英雄 様 高岡市



— 謹んでご冥福を
お祈り申し上げます —

厚生労働大臣感謝状伝達式

10月18日（火）、県庁特別室においてご献眼頂きました皆様には、厚生労働大臣からの感謝状を伝達させて頂きました。



就任のご挨拶

公益財団法人富山県アイバンク
理事長 大黒 幸雄



世界のアイバンク運動と連携し、日本では46番目に誕生、20年を迎える富山県アイバンクの、名誉ある理事長として就任致しました。

世界のライオンズクラブの、極めて意義ある奉仕事業の一端を預かり、微力ではありますが、運営に努力致す所存です。何卒ご支援を伏してお願い致します。

眼の疾患の中で、非常に多い角膜に関わる疾病について、世界最古の記録に、222年前の手術例が出ております。日本でも100年以上前から研究されていきました。光を失った眼に明かりを灯す、医療としては重要な行為なのです。何故なら、「見える」ことから人類の文化が開かれたと言われています。人間に五感という、脳から発する感覚力があります。地球規模で言えば、五感のなかで「視力」が大きく備わっている動物が、最も進歩しています。人間社会はその一番大きな実例なのです。

私達の作業は、人間の最重要な医療行為の、一つのささやかな働きに見えますが、諦めていた家族の顔、美しい風景が見えるようになって頂きたい。全く見えなかった方が、この手術で視力が見事に回復する事例が多いのです。富山県では現在20名くらいの方が手術を待っておられます。

私達はアイバンク事業に大きな意義を感じております。1925年（大正14年）にライオンズクラブ国際大会で「ヘレン・ケラー女史」に失明者の騎士にと言われ、86年間ひたすらこの運動を世界的に展開して参りました。「献眼登録」は眼の明かりを失った方への大きな奉仕の始まりです。

何卒献眼運動へのご協力をもお願いして、ご挨拶と致します。

主人の献眼に想う

高野 光子

平成23年8月26日午後9時57分、50日間の入院生活にピリオドを打って、主人は90歳と8カ月の人生に幕をおろしました。

主人は、シベリア抑留の経験があるせいか大変我慢強く、日頃から何事もなるようにしかならないという人生観を持っておりました。入院中は、医師や看護師の方々のなさる事に、どんなに苦痛でも文句も言わず、常に感謝していて本当に良い患者だったと思います。

献眼は昭和59年4月5日に登録しておりました。その頃はまだ献眼活動の初期で知名度も低い頃だったと伺っています。そのためでしょうか、主人のカードに書いてある連絡先も変わっていて、なかなか連絡がとれませんでした。アイバンクだよりが来ていたことを思い出しそこへ電話したら、直ぐに医師ら3人の方が自宅に来て下さりホッとしました。幸いなことに、献眼に理解の深い古くからの友人お二人の方が見守って下さる中、厳粛に丁寧約1時間かけて処置が行われました。処置のあと、全く以前と変わらない穏やかな主人の顔がありました。お二人は、現アイバンク理事長の大黒様と、ご両親の献眼をなさった山下和夫様で、お二人とも家が近いこともありすぐに来て下さり心強い思いがしました。

葬儀の際には、感謝状や弔辞などを頂き、私の友人はとても感銘深い葬儀だったと言ってくれました。弔辞の中で、主人の角膜は細胞の数も多く綺麗でお二人の方の眼に光が戻ったと言われ、本当に良かったと思います。私もまた主人がどなたかの眼の中で生きており、私を見守っていてくれると思い、感動し、嬉しくなりました。



飛鳥船上（平成18年8月26日）

葬儀のあと何人もの方から、「献眼は高齢でもいいのですね」と意外そうに言われました。私にはまだまだ献眼に対する認識が低いように思われ、主人の献眼が少しでも献眼運動の啓発に役立ったのなら有難いことだと思いました。

献眼までの顛末

松倉 正機

富山の姉から朝8時に母死去の電話があり、妹と一緒に厚生連高岡病院へ着いたのが亡くなってから5時間後の午前11時頃。母は看護師さんに綺麗に化粧をしてもらい、かなり若返ったみたいで、今にも眠りから覚めるような気さえしました。

「もう2年頑張って100歳まで生きるよ」と言っていたのに、倒れて1週間で旅立った母を見ながら涙が込み上げてきましたが、ふと思いついたのがアイバンクでした。京都から馳せ着けた喪主である兄に献眼を提案して快諾を得、姉や妹には兄から献眼することを伝えてもらいました。その時点で死後5時間半余が経過し、97歳という年齢もあって献眼が可能かどうか危惧していましたが、OKということで、正午過ぎには病院からの手配でアイバンクより医師とコーディネーターの方々が駆け付けて、すぐに病室での眼球の摘出作業が始まりました。

実は、私がこのような現場に立ち会うのは伯母と父の従弟の過去2回ありましたが、実際に摘出を見るのは初めてでした。その時私は、この後誰か見知らぬお二人の目の中で、母が生き続けるのだとという嬉しいような気持ちになったのを覚えています。そして2日後の斎場の骨揚げ室で骨だけになった母を見て、献眼して良かった、またどこかで母に会えるとしみじみ思ったものでした。数日後、コーディネーターの入江さんより“本当に綺麗な角膜でした”という電話があり、母の目が役立って良かったとほっとしました。

新聞では、献眼登録者で死亡時の提供申し出がなかった人が61人もいたと報道されていました。その内の3分の1の方でも提供の申し出をされたなら、それを待ち続けている19人の目の不自由な方に光を届けることが出来たのにと残念に思ったものです。

私はこの後、人生最後の奉仕活動である献眼を、しっかりと家族に伝えていくつもりです。



院内コーディネーター紹介

公立学校共済組合北陸中央病院

病院長 宮元 進

透析室看護師長 小泉万里子



平成22年7月から臓器移植法が改正され、意思表示カードが無くても家族の同意による臓器提供や、親族優先提供の記載が可能になりました。また保険証や運転免許証にも意思表示記入欄が追加されました。このため、当院でも患者様の意思確認を実施し、情報共有するために、患者情報に表示できるように体制を整備しました。

院内移植コーディネーターは臓器移植について院内での調整を役割とし、「臓器提供の可能性のある患者様の把握」と「意思の尊重」、臓器提供を選ばれた場合には、ご家族の要望を伺い、関係機関と連絡を取り手配することとなっています。当院では、透析看護師長が院内コーディネーターの役割も担い、透析患者様の腎臓移植登録手続きについても対応しています。

私に関わった、2つの症例を紹介します。1つめは、腎臓の親族優先提供に関する症例です。患者様は80歳代で、人工透析を受けている60歳代の子供に親族優先として腎臓を提供できないかという相談でした。病棟師長から連絡をうけ、ご家族と面会し、思いを伺ったあと親族優先提供について説明しました。患者様は高齢で、また子供も移植登録されていなかったため、親族優先提供の対象にならなかったのですが、腎臓移植登録や、ご家族が意思表示することなど、今後のことについて、併せてお伝えしました。2つめは、眼球提供に至った事例です。患者様はアイバンクに登録されていましたが、適応基準に引っかかる可能性がありました。私から、アイバンク入江さんに連絡・相談し、角膜の検査をして提供可能か判断することになり、入江さんからご家族に説明していただきました。ご家族は本人の意思を尊重したいと、繰り返し言っておられたのが印象に残っています。

富山県でも意思表示カードを持つ人が増えているそうです。そのため、臓器提供に関わる機会も増加すると考えられます。患者様やご家族の意思が尊重され、適切な対応ができるように努めていきたいと思っております。

アイバンク運動を推進するために

富山西ライオンズクラブ
幹事 L. 吉田 松男

9月16日（金）午後6時より富山第一ホテルに於いて富山セントラルライオンズクラブ、富山神通ライオンズクラブ、富山西ライオンズクラブが集って合同例会が行われました。

ゲスト・スピーカーとして公益財団法人富山県アイバンク大黒幸雄理事長を招き、「アイバンクの現況」を語って頂き、約90名の会員は真剣に聞き入っていました。

角膜疾患により視力を失った人に、お亡くなりになった方から献眼頂いて、角膜移植し、目が見えるようになるお手伝いをするために、県内の各ライオンズクラブは委員会を組織して献血運動と共に街頭にでて啓発運動を続けています。

臓器提供と献眼との違いなどを十分に理解されていないことが、最大の悩みとなっています。

問い合わせの多い事項について「Q&A」形式で作成したパンフレットを用いてPRをしていますが、十分理解されるには努力と時間がかかるかも知れません。しかし、続けていかなければと感じます。

この日のために、3クラブが協力して標語を作り、「アイが贈る光のリレー…」の立て看板で啓発活動を推進しました。



献眼運動にかかわって

大門ライオンズクラブ
2011年～2012年 会長 堀 正

新聞記事に「角膜の移植手術を受け、失明から救われた人々の喜びの声」が載っていると、私たちライオンズマンが日ごろの活動で訴えている「献眼登録」運動が一翼を担っていることを実感できる。たくさんの人々の善意でささえられていることを考えると、身の引き締まる緊張感を覚え、ライオンズマンとして活動を続けていることに誇りが持てる。

当クラブは1,100回例会を数える歴史の中で、元会員2名、会員の家族（母親・子供）2名、クラブの活動に共感した住民1名が献眼され、角膜疾患の方が移植手術後視力を取り戻されている。献眼された家族へ感謝等のアフターフォローを強化していくことが、更なる理解者の拡大に繋がると確信している。

一人でも多くの人々に献眼登録をお願いするためにも、年に2回実施している献血活動に合わせ、「献眼登録」もお願いする啓発活動を展開している。

多少なりとも貢献できること、ライオンズクラブ員として今後も誇りを持った啓発活動を展開していく。



ご芳志ありがとうございました。

敬 称 略

□寄付者 ご芳名 平成22年6月～23年3月

☆一般

山田数雄	500,000	稲場トシ子	5,000	赤池静子	3,000
三水会 (富山県西地区眼科医会)	60,000	大城眼科医院	5,000	中西広一	3,000
カモの会	51,400	網 美保子	3,000	稲村栄勝	3,000
富山県法人会連合会	50,000	石黒 寛	3,000	中川吏永子	3,000
立浪眼科医院 立浪真美	50,000	谷原 實	3,000	鹿島うら子	3,000
三和器機株式会社	50,000	志鷹高子	3,000	境 里子	3,000
セントラルメディカル株式会社	50,000	宇波喜久男	3,000	宮島さだ子	3,000
株式会社メガネハウス	50,000	矢木義人	3,000	山田温泉病院 武田 宏	3,000
吉野一男	33,000	田之下和美	3,000	下条省三	3,000
河島早苗	20,000	坂田楨子	3,000	上原 恵	3,000
山崎眼科医院	10,089	八島美雄	3,000	青木安子	3,000
平田秀樹	10,000	片口尚志	3,000	元野清光	3,000
竹本福志	10,000	樋爪酉治	3,000	内山照子	3,000
とりさき眼科	10,000	谷野克巳	3,000	桶家賢二	3,000
松井優子	10,000	喜多弘江	3,000	花房紀行	3,000
津根タミ子	10,000	中保 昭	3,000	跡治幸子	3,000
南 正子	10,000	田中昭子	3,000	澤田壽朗	3,000
佐々木千佳子	10,000	水木秀子	3,000	堀 源郎	3,000
有限会社タートルライン 渡部尚子	10,000	寺澤和美	3,000	稲塚和雄	3,000
藤巻篤子	9,000	福呂道隆	3,000	寺島恵津子	3,000
吉森輝夫	9,000	石原 繁	3,000	宝田雅子	3,000
アイバンクスタッフ会	7,698	三村幸一	3,000	佐藤貴宏 (瑞恵)	3,000
武田 宏	6,000	林 玲子	3,000	松井恵美子	3,000
飴谷和代	6,000	高野英雄	3,000	佐伯文江	3,000
植田芳樹	5,000	國香悠子	3,000	宮本徳五郎	3,000
藤井正義	5,000	蓮田カヲル	3,000	山田征宏	3,000
石川恵子	5,000	城川文郎	3,000	二上 功	2,000
石垣誓子	5,000	森田忠浩	3,000		
山田和枝	5,000	北村よし	3,000		

☆ライオンズクラブ関係

富山県ライオンズクラブ奉仕銀行	1,250,000	森田忠雄 (富山神通LC)	3,000
ライオンズクラブ2R2Z	100,000	田畑裕二 (富山西LC)	3,000
ライオンズクラブ2R3Z	100,000	高田順一 (富山昭和LC)	10,000
富山ちゅうりっぷライオンズクラブ	50,000	大浦 均 (富山いきいきLC)	5,000
富山神通・大山・富山昭和 3ライオンズクラブ	73,000	菅野美代子 (黒部LC)	3,000
八尾婦中ライオンズクラブ	100,000	中尾順一 (黒部LC)	3,000
富山神通ライオンズクラブ	50,000	石田孝夫 (立山LC)	3,000
上市ライオンズクラブ	100,000	山田弘男 (滑川有恒LC)	3,000
高岡志貴野ライオンズクラブ	7,820	橋本浩八郎 (魚津LC)	3,000
高瀬清春 (富山LC)	200,000	医療法人光ヶ丘病院職員 (高岡LC)	18,489
上原敏雄 (富山LC)	3,000	港 勉 (高岡中央LC)	3,000
野村健造 (富山南LC)	3,000	筏井晴夫 (高岡フラワーLC)	10,000
青山 嵩 (富山平成LC)	63,800	堀 壽夫 (高岡フラワーLC)	3,000
五十嵐務 (富山平成LC)	3,000	石灰甚一 (新湊LC)	5,000
株式会社オフィスケイ (富山セントラルLC)	103,194	流田範男 (となみセントラルLC)	30,000
有限会社富山重機 (八尾婦中LC)	10,000		

□賛助会員 平成22年6月～23年3月

個人会員

☆ライオンズクラブ関係

・富山西ライオンズクラブ

浅野紀男	入坂文一	岡畑康一郎	志鷹淳一	中嶋 進	中村三郎	森 雅志
新井司朗	内山芳一	面谷百合子	田畑裕二	中島奈々	東山広嗣	山口勝康
荒木孝吉	大郷 穰	佐賀野昭一郎	土井光男	中瀬恭一	樋口善次	山田孝志
石本 剛	岡崎 誠	澤田孝之	豊岡 正	中野道嘉	藤倉栄之	吉田松男

・魚津ライオンズクラブ

高岸和男	富山 剛	河崎直通	石崎敬治	保里真理子	松本憲治	小津ゆかり
寺崎達二	大沢範洋	高縁 勉	山崎昌弘	秋本政亮	佐近 肇	浦野孝一
岡本賢三	境 伸	八木 洋	長岡昭男	山崎久子	小坂愛香	加藤樹永
伊東紀一	慶野耕一	佐々木幹郎	浜多等志	澤泉 弘	長島 潔	
清河 衛	高縁 勲	石川精二	元野勝行	川上祐子	尾谷秀雄	
小坂 章	油本 茂	入井孝博	清水憲治	廣瀬和夫	畠山 明	
吉崎 実	谷口正明	高松静夫	虎谷武道	松崎孝治	清河高之	

・高岡志貴野ライオンズクラブ

板野吉秀

・高岡伏木ライオンズクラブ

戸澤克行	山 孝之	塚田敏夫	青木英勝	山下光造	渡邊一三
------	------	------	------	------	------

法人会員

☆ライオンズクラブ関係

・富山セントラルライオンズクラブ

・富山昭和ライオンズクラブ

・高岡フラワーライオンズクラブ

・となみセントラルライオンズクラブ

・高岡志貴野ライオンズクラブ

富源商事株式会社

・高岡伏木ライオンズクラブ

株式会社マルチ・アクセス・カンパニー

有限会社平野石油店

東光運輸株式会社

伏木海陸運送株式会社

北陸エンジニアプラスチック株式会社

募金ありがとうございました。

平成22年6月～23年3月

☆一般

ポプラ富山中屋店	23,271	神保秀子	10,000	柏樹裕美	3,000
ポプラ高岡泉ヶ丘店	19,049	高岡市民病院売店	6,786	井上政雄	3,000
福岡町ボランティア大会	17,822	じゅうじゅう大沢野店	6,614	林 とみい	3,000
ふうふう亭	13,149	新田眼科	4,533	奥村豊明	2,000
富山赤十字病院眼科	11,799	ポプラ戸出春日店	4,308	なかやす酒販株式会社	1,485
ポプラ伏木古府店	11,050	中川正吉	3,000		
ポプラ小杉東店	10,052	関井はな子	3,000		

☆ライオンズクラブ関係

1R7クラブ	163,771	・富山ライオンズクラブ	
富山みなとライオンズクラブ	16,486	宮岸株式会社	6,698
八尾婦中ライオンズクラブ	7,633	・新湊ライオンズクラブ	
氷見ライオンズクラブ	35,000	嶋モーター株式会社	3,363
新湊ライオンズクラブ	18,886		

募金活動にご協力いただいています

富山県アイバンクでは、県内の各所に募金箱を設置させていただいております。その中で、今回は、メガネ販売店様をご紹介いたします。

・株式会社メガネハウス様

県内全店21店舗において、毎年10月「目の愛護月間キャンペーン」の一環として、アイバンクのポスター掲示と募金活動を行ってくださっています。本年度で14回目をむかえます。

代表取締役社長 岡本両平様



・株式会社メガネのハラダ様

本年11月より、県内19店舗および石川県6店舗において、アイバンクパンフレットと募金箱を設置していただくこととなりました。

代表取締役 原田隆平様



ありがとうございます

公益財団法人富山県アイバンク 平成22年度事業報告書

(平成22年1月1日～23年3月31日)

〈公益事業1〉

眼のあっせん等に関する事業

(1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録パンフレット14,000部を印刷し、富山県善意銀行(1,500部)、県内医療機関、市町村、関係各所へ配布した。
登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行った。
医療従事者向けの「献眼マニュアル」を2,000部配布し、県内医療機関等へ配布した。
本年度の献眼登録者数は、113名となった。

(2) 眼球あっせん事業

① 眼球のあっせん

- ドナー情報が、21名あり、18名から提供を頂いた。

献眼月	年齢	性別	在住地
2月	90歳代	女性	富山市
	50歳代	女性	富山市
3月	50歳代	女性	高岡市
4月	80歳代	女性	富山市
5月	50歳代	女性	富山市
6月	80歳代	男性	富山市

献眼月	年齢	性別	在住地
6月	60歳代	男性	砺波市
9月	60歳代	女性	富山市
	70歳代	女性	高岡市
10月	90歳代	男性	富山市
11月	80歳代	男性	小矢部市
	70歳代	男性	氷見市

献眼月	年齢	性別	在住地
11月	80歳代	男性	富山市
2月	80歳代	男性	富山市
	70歳代	男性	富山市
3月	80歳代	女性	高岡市
	90歳代	女性	射水市
	80歳代	男性	入善町

- 提供者のご葬儀に参列し、弔辞を奉読し、感謝状を伝達した。
- 提供者ご遺族へ、角膜移植報告を行った。
- 提供眼球の検査等を行い、医学基準に基づき、あっせんを行い、28名の方に角膜移植が行われた。
- 10月18日、県庁特別室において平成21年5月から22年6月までの献眼者15名に対して厚生労働大臣感謝状伝達式を開催した。

② 移植希望者の募集および登録

- 移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成した。

(3) 普及啓発事業

① 医療従事者への啓発活動

- 院内コーディネーター連絡会(1月、3月、5月、7月、9月、11月、1月、3月)を開催し、院内コーディネーターへの啓発活動を行った。
- 病院症例検討会を行った
県立富山中央病院・厚生連高岡病院(毎月1回)
砺波総合病院(1月、3月、4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月)
高岡市民病院(2月、4月、6月、8月、10月、2月)
- 院内移植委員会等に参加
6月25日 厚生連高岡病院移植講演会
7月26日 富山大学附属病院脳死判定に関する委員会
9月17日 富山大学附属病院臓器移植委員会のセミナー
7月8日 県立中央病院脳死判定委員会
9月10日 脳死下提供病院連絡会
- 啓発活動の一環としての講演会

○ グリーフケアとしてのエンゼルメイク

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1月20日 富山大学医学部看護学科 | 6月8日 富山市民病院 |
| 8月5日 富山福祉短期大学看護学科 | 8月11日 高山赤十字病院(岐阜県) |
| 9月13日 富山大学附属病院救急部 | 12月22日 通信病院看護部 |
| 1月12日 通信病院看護部 | 1月21日 富山大学医学部看護学科 |

○献眼啓発講演会

3月18日 南砺市民病院

10月8日 高岡市民病院講演会

9月9日 あさひ総合病院師長会

2月24日 かみいち総合病院

②一般県民への啓発活動

●街頭での啓発活動

1月24日 ファボーレにて登録パンフレット配布

6月6日 ファボーレにて登録パンフレット配布

7月4日 アピタ砺波店にて登録パンフレット配布

9月30日 富山県民会館にて登録パンフレット配布

3月16日 射水市役所にて登録パンフレット配布

5月29日 北の森ショッピングセンターにて登録パンフレット配布

6月13日 イオンモール高岡にて登録パンフレット配布

7月25日 福岡町ボランティア大会にて登録パンフレット配布

10月18日 黒部市総合公園にて登録パンフレット配布

(4)その他

4月13日 院内移植コーディネーター委嘱状交付式に出席し、式典後、院内コーディネーターとの懇談会を開催した。

7月31日 アイバンク協会のセミナーに参加した。

〈公益事業2〉

眼の衛生に関する普及啓発事業

(1)アイバンクだより第16号を発行(6,000部)し、登録者並びに県内関係機関へ配布した。

(2)眼の衛生に関する講演会

2月 富山ライオンズクラブ例会にて講演

6月 富山いきいきライオンズクラブ例会にて講演

9月 富山昭和ライオンズクラブ例会にて講演

2月 富山みなとライオンズクラブ例会にて講演

7月 富山ちゅうりっぷライオンズクラブ例会にて講演

3月 富山市堀川校下環境保健衛生協議会にて講演

(3)広報誌「アイバンク情報」を月1回発行し、ホームページに掲載した。

(4)募金箱30個を作製し、県内各所に設置した。

〈その他〉

1月 高瀬、港両監事に平成21年度事業報告書並びに決算報告書の監査を受けた。

理事会を開催し、「平成21年度事業報告並びに決算報告」の承認を行った。

2月 評議員会を開催し、「平成21年度事業報告並びに決算報告」の承認並びに任期満了に伴う理事・監事の選任を行った。

3月 理事会にて「理事長・副理事長・常務理事」を選任した。

役員の変更登記を行った。

東海北陸ブロック連絡協議会(於三重県)に出席した。

6月 ライオンズクラブ奉仕銀行常任委員会に出席し、平成22年度の助成協力をお願いした。

7月 全国アイバンク連絡協議会に出席した。

8月 ライオンズクラブ奉仕銀行会議に出席した。

10月 高瀬、港両監事に平成22年度中間期事業報告書並びに決算報告書の監査を受けた。

11月 理事会を開催し、「平成22年度中間期事業報告並びに決算報告」の承認を行った。

3月 理事会を開催し、「平成22年度修正収支予算書」「平成23年度事業計画並びに予算書」の承認を行った。

東海北陸ブロック連絡協議会(於愛知県)に入江事務局が出席した。

評議員会を開催し、「平成22年度修正収支予算書」「平成23年度事業計画並びに予算書」の承認を行った。

寄附金を頂いた個人・団体等へ感謝状を伝達した。

公益財団法人富山県アイバンク 平成22年度収支計算書（損益）

平成22年1月1日～23年3月31日
(単位：円)

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	263,514	0	263,514
基本財産利息収入	263,514	0	263,514
②特定資産運用益	14,073	0	14,073
特定資産利息収入	14,073	0	14,073
③受取会費	663,000	442,000	1,105,000
賛助会員会費収入	663,000	442,000	1,105,000
④事業収益	4,750,000	0	4,750,000
角膜幹旋手数料	4,750,000	0	4,750,000
強膜幹旋手数料	0	0	0
⑤受取補助金等	3,400,000	1,500,000	4,900,000
富山県補助金収入	1,350,000	0	1,350,000
日本アイバンク協会助成金収入	50,000	0	50,000
LC奉仕銀行助成金収入	1,500,000	1,000,000	2,500,000
郵政公社助成金収入	500,000	500,000	1,000,000
⑥受取寄付金	2,506,457	1,294,316	3,800,773
寄付金収入	1,941,476	1,294,316	3,235,792
募金収入	564,981	0	564,981
⑦県委託事業費収入 (H21年度分)	900,000	0	900,000
⑧県委託事業費収入 (H22年度分)	2,500,000	0	2,500,000
⑨雑収益	14,175	9,450	23,625
受取利息収入	753	502	1,255
その他の収入	13,422	8,948	22,370
経常収益計	15,011,219	3,245,766	18,256,985
(2)経常費用			
事業費	12,784,113	0	12,784,113
①眼球のあっせん等に関する事業費	3,100,574	0	3,100,574
募集登録費支出	1,505,672	0	1,505,672
旅費交通費	233,832	0	233,832
印刷製本費	625,475	0	625,475
通信運搬費	259,440	0	259,440
広報費	386,925	0	386,925
あっせん事業費支出	1,594,902	0	1,594,902
摘出謝礼	355,555	0	355,555
旅費交通費	240,339	0	240,339
弔慰費	140,000	0	140,000
器具消耗品費	478,898	0	478,898
検査費	142,905	0	142,905
感謝状伝達費	237,205	0	237,205
②眼の衛生に関する普及啓発事業費	924,996	0	924,996
啓発事業支出	924,996	0	924,996
啓発備品費	140,752	0	140,752
印刷製本費	549,100	0	549,100
旅費交通費	1,700	0	1,700
通信運搬費	233,444	0	233,444
③公益事業共用費	6,204,667	0	6,204,667
コーディネーター活動支出	220,040	0	220,040
諸給与支出	4,697,289	0	4,697,289
コーディネーター給与手当	3,825,317	0	3,825,317
福利厚生費	871,972	0	871,972
通信運搬費	288,504	0	288,504
事務消耗品費	446,107	0	446,107
雑費	141,067	0	141,067

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
その他	71,487	0	71,487
振込手数料	69,580	0	69,580
リース代	35,280	0	35,280
退職給付費用	376,380	0	376,380
④委託事業費支出	2,297,033	0	2,297,033
⑤什器備品償却費	256,843	0	256,843
⑥管理費	0	2,917,288	2,917,288
諸給与支出	0	1,840,128	1,840,128
給与手当	0	1,599,129	1,599,129
福利厚生費	0	240,999	240,999
会議費支出	0	411,476	411,476
理事・評議員会他	0	304,736	304,736
旅費交通費	0	106,740	106,740
需用費支出	0	432,493	432,493
通信運搬費	0	70,956	70,956
対外渉外費	0	32,000	32,000
印刷製本費	0	24,150	24,150
事務消耗品費	0	0	0
賃借料	0	125,324	125,324
雑費	0	180,063	180,063
退職給付費用	0	94,095	94,095
什器備品償却費	0	139,096	139,096
経常費用計	12,784,113	2,917,288	15,701,401
評価損益調整前当期増減額	2,227,106	328,478	2,555,584
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,227,106	328,478	2,555,584
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
退職給付会計基準変更時差異額	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,227,106	328,478	2,555,584
一般正味財産期首残高			72,761,817
一般正味財産期末残高			75,317,401
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			0
富山県補助金収入			0
日本アイバンク協会助成金収入			0
LC奉仕銀行助成金収入			0
受取負担金			0
受取寄付金			0
LC奉仕銀行助成金収入			0
基本財産運用益			0
基本財産利息収入			0
特定資産運用益			0
一般正味財産への振替額			0
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			0
III 正味財産期末残高			75,317,401

公益財団法人富山県アイバンク理事・監事

(平成23年7月22日現在)

理事39名・監事2名

役職	氏名	勤務先
理事長	大黒 幸雄	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー 代表取締役
副理事長	宮岸 武	北陸バンドー株式会社 代表取締役社長
副理事長	伊勢 豊彦	株式会社セイ・アグリーシステム 代表取締役
常務理事	野村 謹吉	株式会社ガスコムノムラ 会長
常務理事	森 弘	防災電設株式会社 代表取締役
名誉理事	井村東司三	井村医院 院長
名誉理事	高田 眞	阪神容器株式会社 代表取締役会長
理事	本村 哲明	株式会社北日本工芸 代表取締役
理事	岡本 武勇	社団法人富山県身体障害者福祉協会 会長
理事	金井 澄子	富山県善意銀行 参与
理事	寺崎 達二	有限会社寺崎樹脂 代表取締役
理事	藤沢 実	藤沢(法務・登記・測量)合同事務所 司法書士
理事	高田 順一	阪神容器株式会社 代表取締役社長
理事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院 理事長
理事	清水 英子	富山県善意銀行 副理事長
理事	海野 進	富山県社会福祉協議会 専務理事
理事	牧 亨	東光運輸株式会社 代表取締役社長
理事	藤巻 篤子	眼科医師
理事	吉田 隆	株式会社吉田家具店 代表取締役
理事	飯田 久範	富山県厚生部長
理事	山田 祐司	山田祐司眼科医院 院長(富山県眼科医会 会長)

役職	氏名	勤務先
理事	林 篤志	富山大学医学部眼科 教授
理事	林 巖	あおば税理士法人 税理士
理事	中尾 順一	株式会社ホクペレ 代表取締役会長
理事	木村 正明	木村経営会計事務所 所長
理事	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士磯野敏雄事務所 代表
理事	佐賀野昭一郎	有限会社佐賀野通送 代表取締役
理事	慶野 耕一	慶野住設株式会社 代表取締役
理事	筏井 晴夫	元高岡信用金庫
理事	浦山 哲郎	学校法人浦山学園 理事長
理事	流田 範男	英知建築事務所 所長
理事	吉田 松男	松よし 店主
理事	熊野 清	砺波宅建企画 代表
理事	稲垣 實	有限会社稲清 代表取締役
理事	戸田 治	戸田電気鉄興株式会社 代表取締役
理事	戸田 昭一	有限会社戸田製作所 取締役
理事	河合 宏和	株式会社かわいべビー 代表取締役
理事	花島 榮一	有限会社花島精肉本店 代表取締役
理事	尾間 央	有限会社平野石油店 代表取締役
監事	高瀬 清春	公認会計士高瀬清春事務所
監事	港 勉	保護司

公益財団法人富山県アイバンク評議員

(平成23年7月13日現在)

計 38名

氏名	勤務先
村家 博	むらい食品株式会社 代表取締役
江畑 拓	富工建設株式会社 代表取締役
松下 栄信	株式会社松下工業 代表取締役社長
大坪 敏雄	大栄印刷株式会社 代表取締役社長
高田 重信	高田燃料店
瀬川 憲一	鹿鳴館 代表
藤井 明美	株式会社アポケアとやま 代表取締役社長
澁谷 明男	富山城南温泉病院
長谷川修博	日本海調温株式会社 代表取締役
山口 清	有限会社富山重機 代表取締役社長
浦田 啓一	有限会社しまだ 代表取締役
寺島 太郎	有限会社プロハート 代表取締役
中野 道嘉	中野道嘉事務所 所長
辻井 益雄	株式会社富花 代表取締役
吉川 裕	有限会社吉川保険事務所 代表取締役
橋本 徳倫	徳城寺住職
菅野 寛二	菅野印刷興業株式会社 代表取締役
西田 克美	有限会社西田環境保全センター 代表取締役社長
窪田 一誠	立山町町議会議員

氏名	勤務先
前田 新作	滑川市議会議員
池原 憲文	池原印刷所 代表
高縁 勉	高縁タイル店 代表
柳澤 伸一	有限会社クリーンみず穂 代表取締役
城外喜男	株式会社双葉商会 代表取締役社長
若森 征雄	若森商店 代表
板野 吉秀	株式会社いたの 代表取締役社長
平木 光昭	平木歯科医院 院長
小濱 裕夫	中村機械 代表
一川 順彦	
森越 隆士	昇永工業株式会社 代表取締役社長
山下 光造	有限会社山下建築設計事務所 代表取締役
石村 正男	北海工業株式会社 代表取締役会長
永森 忠志	永森建設工業株式会社 代表取締役
高松 和宏	北日本フードサービス株式会社 代表取締役社長
片山 孝志	片山工業株式会社 代表取締役
野田 孫就	野田歯科医院 院長
石黒 稔	有限会社ミヤコ 代表取締役社長
北岡 勝	社団法人富山県善意銀行 常任理事兼事務局長

アイバンク Q & A

Q1. 献眼と臓器提供って
どう違うの？

A1.

献眼は心停止の後にご連絡をいただいても、大丈夫です。但し、その他の臓器は違います。

Q2. 何歳まで
できるの？

A2.

臓器提供は、肝臓を除いて年齢の制限があります。しかし、献眼はおいくつでもできます。100歳以上の方からも、ご献眼いただいています。

Q3. どうやって
提供するの？

A3.

本人が拒否していない限り、ご家族の同意で提供が可能です。ご本人の意思は意思表示カードや免許証・保険証の裏の意思表示欄に記すことができます。アイバンクでは、献眼登録をしてもらいアイバンクカードを発行しています。

Q4. 白内障の手術
をしたのですが
献眼できますか？

A4.

できます。近視、乱視、老眼、色盲のような眼の異常、白内障などの眼の病気があっても登録は可能です。

Q5. どこで
提供
するの？

A5.

ご献眼は、お亡くなりになったところでできます。病院やご自宅でも大丈夫です。

Q6. 献眼できない
病気って
あるの？

A6.

エイズ・B型肝炎・神経系疾患・敗血症・白血病などの病気は献眼できません。

Q7. 献眼した後は
どのように
なりますか？

A7.

義眼を入れた後、その後エンゼルメイクを施しますのでおだやかなお顔はそのままです。なお、摘出の時間は30分程度とわずかです。

広報委員

牧 亨
岡本 武勇
佐賀野昭一郎
海野 進
中尾 順一

慶野 耕一
吉田 隆
戸田 治
河合 宏和
寺崎 達二

高田 順一
清水 英子
木村 正明
流田 範男
稲垣 實

尾間 央
筏井 晴夫
吉田 松男
浦山 哲郎
熊野 清

戸田 昭一
花島 榮一
林 巖

編集後記

公益財団法人富山県アイバンクは、平成3年12月発足以来20年にならんとしています。7月高田理事長が退任し、新しく第4代大黒幸雄理事長が就任され「富山県アイバンクだより」の表紙は高岡大仏と第2代理事長のお元気なお姿でインパクトをかもし出しています。

皆様の活動の結果、本年度10月末現在までで献眼登録数は50名となりました。

なお、尊い献眼者皆様のご冥福を心からお祈り申し上げます。

ライオンズクラブ並びに医療機関関係の皆様、一人でも多くの角膜疾患の方々に「アイが贈る光のリレー」で運動を続けて頂きますようお願い致します。出稿ご協力ありがとうございました。

広報委員会PR部長 佐賀野昭一郎



富山県アイバンクだより

第17号・平成23年11月30日

発行

公益財団法人 富山県アイバンク

富山市杉谷2630
TEL (076) 434-5710
発行人：大黒幸雄